



仙台市スポーツ推進計画

概要版

2012~2021

【はじめに】

1

策定の趣旨

これまで、本市ではスポーツを通して「私も、あなたも、まちも、みんなが、元気になる」ことを目指し、豊かなスポーツライフを送ることができるよう、平成14年10月に『仙台市スポーツ振興基本計画(せんだいスポーツ元気プラン)』を策定し、「する」、「みる」、「ささえる」の3つの柱により様々な施策を展開してきました。

この間、運動やスポーツを行っている人の割合やスポーツ観戦の回数において数値が増加する一方、スポーツ行事への参加などにおいては目標値に達していないものもあります。

今後の本市のスポーツ推進にあたっては、社会情勢やライフスタイルなど、スポーツを取り巻く環境の変化に対応したさらなる取り組みが求められており、このような状況を踏まえ、本市が目指すスポーツ施策の方向性を示す「仙台市スポーツ推進計画」を策定するものです。

2

計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条の規定に基づく「地方スポーツ推進計画」として、国のスポーツ基本計画(平成24年3月策定)、仙台市基本構想並びに、仙台市基本計画のほか他の関連計画を踏まえ、本市におけるスポーツ推進の基本となる計画とするものです。

3

計画の期間

国のスポーツ基本計画とあわせ、平成24年度から平成33年度までの10年間を見通したものとしますが、具体的に取り組む施策や数値目標等は平成24年度から5年間の内容とします。(5年経過後に必要な見直しを行います。)

● 基本理念 ●

人とまちの元気をはぐくむ「スポーツシティ仙台」

↑ 〈基本目標〉

する

- ライフステージに応じたスポーツ活動への参加機会の拡大
- スポーツを生み出す環境づくりの促進

ひろがる

- スポーツを通じた次世代の育成
- 市民相互の交流や国内外との交流の促進

みる

- 国際・全国スポーツイベントの開催
- プロスポーツの振興支援
- 身近なスポーツ活動の応援

ささえる

- スポーツボランティアなどの育成・支援
- 大学や企業との協働によるスポーツの支援

これまでの仙台市スポーツ振興基本計画(せんだいスポーツ元気プラン)の柱である、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」を継承するとともに、これをさらに推進することで、スポーツ活動が人から人へと世代を超えて広がり、様々な交流へとつながっていくことを目指し、新たに「ひろがる」を加えた4つの柱で、本市のスポーツの推進に取り組みます。



するスポーツ

● 生涯・競技スポーツの推進

1. スポーツ活動の継続と参加型イベントの開催・支援

- 市民参加型イベントの推進
- 地域スポーツ大会の開催・支援
- 地域運動会など学校と連携した運動の機会拡大

2. マイタウンスポーツ活動※の推進

- マイタウンスポーツデーの開催
- マイタウンスポーツ活動団体の育成・支援及び連携強化
- 総合型地域スポーツクラブの活動支援

3. 高齢者、障害者のスポーツ活動の支援

- 高齢者、障害者の各種スポーツ大会の開催支援及び参加促進
- 高齢者運動プログラムの提供
- 障害者スポーツ・レクリエーション活動の推進

4. 競技スポーツの推進

- 小中学生の全国大会等への派遣に対する支援の検討
- 市長杯の創設や競技大会の共催・後援などによる支援



※マイタウンスポーツ活動
学区民体育振興会をはじめ、スポーツ少年団や各競技団体、総合型地域スポーツクラブなど、地域で行われている様々なスポーツ活動

● スポーツ環境の整備・検討

1. 身近なスポーツ施設の整備・検討

- 市内中心部のランニングコースなど身近なスポーツ施設の環境や整備手法を検討
- 既存施設の効率的・効果的な改修計画の策定
- 震災の影響により使用できない施設の代替機能検討
- 学校施設開放事業の推進

2. 大規模スポーツ施設等のあり方の研究

- 大規模スポーツ施設の必要性などの研究
- 震災復興に向けた取り組みの中でのスポーツ施設等の再整備

3. 利用しやすい施設サービスの検討

- 公園内のスポーツ施設などの利活用促進
- 市民利用施設予約システムの再構築
- スポーツ情報の収集・発信
- 施設利用者の交流・情報交換の場の提供

4. 民間スポーツ施設等の活用

- 民間スポーツ施設や企業とのネットワークづくり
- 「(仮称)仙台のスポーツを考えるフォーラム」の開催



● 学校体育との連携

1. 子どもの体力向上・スポーツ活動への取り組み

- 全児童生徒を対象とした体力・運動能力調査の実施
- 子どもを対象としたスポーツプログラムを提供
- 地域スポーツ活動への案内・誘導

2. 学校体育における健やかな体の育成

- 児童生徒用運動啓発資料の作成などの取り組み
- アスリート活用事業(アスリートによる授業支援)の推進

3. 学校における部活動支援

- 運動部活動への外部指導者派遣事業の継続

みるスポーツ



● 国際・全国スポーツイベントの開催

1. 国際スポーツイベントの開催・誘致

- 仙台国際ハーフマラソン等の開催
- 国際総合スポーツ大会の誘致検討

2. 全国スポーツイベントの開催・誘致

- 全日本大学女子駅伝、実業団女子駅伝の開催
- 日本バドミントンジュニアグランプリの開催

● プロスポーツ等の観戦機会の拡大

1. プロスポーツチーム等の地域密着支援

- 仙台に本拠地を置くプロスポーツチーム等※の支援

※プロスポーツチーム等
ベガルタ仙台 ベガルタ仙台レディース
東北楽天ゴールデンイーグルス
仙台89ERS 仙台ベルフィーユ
(H24.9現在)

● スポーツ活動を応援する気運の醸成

1. スポーツ大会開催情報の発信

- 各種東北大会の開催と開催情報の発信
- 地域で開催されるスポーツ大会の情報発信



ささえるスポーツ

● マンパワーの養成と活用システムの構築

1. スポーツ指導者やスポーツボランティアの養成

- スポーツ指導者に対する講習会の開催
- 地域スポーツ指導者の育成・活用
- スポーツボランティア等の養成講習会の開催

2. ボランティアネットワークの構築

- ボランティア団体等のネットワークの構築
- ボランティア情報の発信
- 「ちょこボラ」※の推進

3. スポーツ活動等への顕彰

- 仙台市スポーツ賞の実施

※ちょこボラ

ボランティア活動へのきっかけづくりとして、気軽に、時間などにあまりとらわれずに「ちょこっと」できるボランティア



● スポーツにおける企業、大学との連携

1. 企業スポーツチームとの連携・協働

- 市内の企業スポーツチームとの協働事業の開催
- 指導者のための研修会の開催

2. 大学との連携・協働

- 大学施設の利用や指導者の派遣及び育成
- 地域スポーツ団体と大学の人材資源をコーディネート
- 大学の持つ知識や見識の活用などの取り組みを検討

3. 企業からの支援策の検討

- 企業協賛のシステム化などの検討



ひろがるスポーツ

● 将来を担う次世代の育成

1. 幼児期からスポーツに触れ合う機会の充実

- 試合観戦など多様なスポーツ活動への参加機会の拡大
- ファミリー健康体力向上事業やキッズスポーツデーなど、親子を対象とした事業による絆づくり

2. 将来性を有するジュニアアスリートの支援

- 高いレベルの競技者や指導者による指導機会の拡大
- 子どものスポーツ志向の醸成



● スポーツによる街の活性化

1. アマチュアスポーツ日本一大会の誘致

- 日本一を決定する大会の誘致・開催

2. スポーツコミッション設立の検討

- スポーツコミッション※の設立を検討
- スポーツツーリズム※のモデル事業の実施

3. スポーツにおける広域連携

- 日常的な相互施設利用を検討
- 国際大会などの開催・誘致における広域的な施設利用

※スポーツコミッション
スポーツイベントの誘致と開催支援を通じて観光、あるいは交流人口の拡大を図って地域経済を活性化していこうという組織

※スポーツツーリズム
スポーツのイベントやスポーツのレジャーを観光資源として活用すること



【数値目標】

1 15歳以上の市民のうち、週1回以上運動やスポーツを行う人の割合 36.4%
▼
50.0%

2 15歳以上の市民のうち、市や地域スポーツ団体などが主催するスポーツ行事に参加する人の割合 33.8%
▼
40.0%

3 15歳以上の市民のうち、年1回以上競技場でスポーツ観戦する人の割合 47.2%
▼
60.0%

4 15歳以上の市民のうち、スポーツボランティア等の協力活動を行う人の割合 5.5%
▼
10.0%

5 仙台市立小学校児童(5年生)のうち、週3回以上運動やスポーツを行う児童の割合(学校の体育の授業を除く) 48.0%
▼
60.0%

6 スポーツの全国大会並びに国際大会の開催数 年5回
▼
年8回以上

H22の調査結果
▼
本計画における目標値

仙台市市民局文化スポーツ部スポーツ振興課

TEL:022-214-8889 FAX:022-213-3225

E-mail:sim004210@city.sendai.jp

<http://www.city.sendai.jp/manabu/sports/index.html>